

プログラム

第2日目



2月22日(土) A会場(B2F イベントホールA)

特別講演4

9:00~9:30

座長：佐々木富男（九州大学）

SS4-1

Microsurgical management of hypothalamic and optic system tumors

Helmut Bertalanffy (Director - Center for Vascular Neurosurgery International Neuroscience Institute Hannover, Germany)

特別講演5

9:30~10:30

座長：中里 洋一（医療法人社団日高会 日高病院 病理部病理診断）

SS5-1

頭蓋内胚細胞腫治療の現況 - 腫瘍自然史および我が国の治療歴史よりの考察

松谷 雅生（黒沢病院脳神経外科、埼玉医科大学）

シンポジウム6 ● 視神経膠腫・ジャーミノーマの治療

10:30~11:40

座長：齋藤 洋一（大阪大学 産学連携本部 脳神経機能再生学）
富永 篤（広島大学 脳神経外科）

S6-1

当院における松果体部悪性胚細胞腫瘍の治療成績

神宮字伸哉（新潟大学 脳研究所 脳神経外科学分野）

S6-2

悪性胚細胞腫瘍に対する外科的治療の意義

影治 照喜（徳島大学 脳神経外科）

S6-3

視床を主座とする膠芽腫と Pilocytic Astrocytoma の臨床的特徴

秀 拓一郎（熊本大学 医学部 脳神経外科）

S6-4

視神経 / 視床下部神経膠腫の長期予後と治療戦略

吉本 幸司（九州大学大学院医学研究院 脳神経外科）

S6-5

視神経膠腫瘍に対して外科的摘出術単独治療は可能か

藍原 康雄（東京女子医科大学脳神経外科）

S6-6

当科における視神経膠腫の治療経験

羽生 未佳（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科）

ランチョンセミナー 4 ● 成人GH分泌不全症に対するGH治療
- 日常診療における経験 -

11:50~12:50

座長：有田 和徳（鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科学）

LS4-1 福田いずみ（東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科）

共催：日本イーライリリー株式会社

シンポジウム 7 ● ACTH 産生下垂体腫瘍の治療

13:00~14:40

座長：沖 隆（浜松医科大学 地域家庭医療学）
立花 修（金沢医科大学 脳神経外科）

- S7-1 ACTH 産生下垂体腫瘍に発現する EGF 受容体ファミリーの意義の解明
福岡 秀規（神戸大学）
- S7-2 機能的下垂体腺腫の被膜 - なぜそこに腫瘍細胞があるのか - 第二報
高橋 麻由（産業医科大学 医学部 脳神経外科）
- S7-3 ACTH 産生下垂体腫瘍に対する集学的治療
天野 耕作（東京女子医科大学 脳神経外科）
- S7-4 クッシング病の術前検査における静脈サンプリングのピットフォールと有用性
～静脈環流路の影響とプロラクチン値での補正による工夫～
北条 雅人（滋賀県立成人病センター 脳神経外科）
- S7-5 MET - PET 融合 MRI 画像の出現による Cushing 病手術成績の向上
～特に MRI にて診断不能であった症例を中心に～
池田 秀敏（総合南東北病院下垂体疾患研究所）
- S7-6 ACTH 産生下垂体腺腫（ACTHoma）に対する内視鏡下経鼻的下垂体腫瘍摘出術（eTSS）の
治療成績
田原 重志（日本医科大学 脳神経外科）
- S7-7 Cushing 病の長期コントロールに関する検討
原 拓真（筑波大学附属病院 脳神経外科）
- S7-8 予後不良例からみたクッシング病の治療
須崎 法幸（独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター）
- S7-9 ACTH 産生下垂体腺腫に対する CyberKnife 治療
佐藤 健吾（日本赤十字社医療センター 脳神経外科、サイバーナイフセンター）

シンポジウム 8 ● 成長ホルモン産生下垂体腺腫の治療**14:50~16:20**座長：島津 章（独立行政法人国立病院機構京都医療センター）
松野 彰（帝京大学ちば総合医療センター 脳神経外科）

- S8-1 先端巨大症術後における OGTT での GH 底値 <0.4 ng/ml を用いた治療効果判定
福田いずみ（東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科）
- S8-2 GH 産生下垂体腺腫における手術非寛解例の臨床的特徴
藤尾 信吾（鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科学）
- S8-3 GH 産生腫瘍の手術治療成績に及ぼす因子の検討
池田 秀敏（総合南東北病院下垂体疾患研究所）
- S8-4 成長ホルモン産生下垂体腺腫術後の IGF-1 正常化を予測する因子
木下 康之（広島大学 脳神経外科）
- S8-5 GH 産生下垂体腺腫の手術成績：特に海綿静脈洞浸潤について
西岡 宏（虎の門病院 内分泌センター 間脳下垂体外科）
- S8-6 先端巨大症における治癒率影響因子の検討：治癒率向上のための外科治療の役割
矢野 茂敏（熊本大学 医学部 脳神経外科）
- S8-7 成長ホルモン産生下垂体腺腫の手術治療成績
米岡有一郎（新潟大学 脳研究所 脳神経外科）
- S8-8 治療に難渋した先端巨大症の検討
川俣 貴一（東京女子医科大学 脳神経外科）

一般演題 4 ● 成長ホルモン産生下垂体腺腫 1**16:20~17:20**座長：平田結喜緒（公益財団法人 先端医療振興財団・先端医療センター /
東京医科歯科大学）

- O4-1 先端巨大症の薬物療法 - 9 年間の治療成績 -
山王 直子（山王クリニック）
- O4-2 先端巨大症における新規の臨床所見についての解析
上羽 哲也（高知大学 医学部 脳神経外科）
- O4-3 オクトレオチド抵抗性先端巨大症の臨床像
関 康史（東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科）
- O4-4 健診受診者を対象としたブドウ糖 75g 経口負荷試験における GH 反応性に関する検討
新美 佑有（三井記念病院 総合健診センター）
- O4-5 先端巨大症の長期制御と脳・心合併症
押野 悟（大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学）
- O4-6 成長ホルモン産生下垂体腺腫患者における手術前後の Quality of Life の変化の検討
佐藤 祐介（名古屋第二赤十字病院 神経内視鏡センター）
- O4-7 先端巨大症治療の標準化；東アジア主要施設の現況
片上 秀喜（帝京大学ちば総合医療センター 内科 臨床研究部）

2月22日(土) B会場(7F 大会議室)

一般演題5 ● 内分泌関連

9:00~10:10

座長：大磯ユタカ（名古屋大学大学院 医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学）

- O5-1 経蝶形骨洞手術後のSIADH（バゾプレッシン分泌過剰症）の病態と予測因子の検討、
予防的飲水制限の効果
松山 純子（将道会総合南東北病院脳神経外科）
- O5-2 当科におけるデスマプレッシン酢酸塩水和物口腔内崩壊錠の使用経験
高田 彩子（福岡大学病院 内分泌・糖尿病内科）
- O5-3 デスマプレッシン経口製剤導入法の検討（点鼻製剤からの切替症例の経験）
高士 祐一（東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科）
- O5-4 重症型成人GH分泌不全症患者に対するGH補充療法の効果
笠毛 友揮（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科）
- O5-5 下垂体腫瘍にともなう高プロラクチン血症におけるGHRP負荷試験とTRH負荷試験との比較
碓井 智（広島大学 脳神経外科）
- O5-6 プロラクチノーマ診断におけるTRH負荷試験の有用性－腫瘍サイズの与える影響－
向井 康祐（大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌・代謝内科）
- O5-7 GHRP-2はACTH分泌評価に用いることは可能か？
大川 雄太（浜松医科大学 第二内科）
- O5-8 PRL産生巨大腺腫に対するカベルゴリン治療と外科治療の関連
山本 泰永（信州大学 医学部 脳神経外科）

一般演題6 ● 成長ホルモン産生下垂体腺腫2

10:10~11:00

座長：小野 昌美（東京女子医科大学 医学部 第2内科）

- O6-1 先端巨大症における術後非治療症例の最終コントロールの検討
阿久津博義（筑波大学脳神経外科）
- O6-2 内視鏡下経鼻的経蝶形骨洞手術とオクトレオチド除法製剤による成長ホルモン産生下垂体腺腫
に対する治療 当院におけるコントロール良好例と不良例の検証
渡邊 孝（琉球大学 医学部 脳神経外科）
- O6-3 成長ホルモン産生下垂体腺腫に対する内視鏡下経鼻的経蝶形骨洞手術の手術成績
当グループの現状と課題
丹原 正夫（名古屋大学 脳神経外科）
- O6-4 成長ホルモン産生性下垂体腺腫に対する神経内視鏡単独手術と術中画像支援の有用性
黒住 和彦（岡山大学大学院 脳神経外科）

O6-5 成長ホルモン産生性下垂体腺腫における再手術の有効性

林 康彦 (金沢大学脳神経外科)

O6-6 先端巨大症に合併した手根管症候群の病態解析

－知覚および運動神経伝導速度と MRI による正中神経の評価－

笹川 泰生 (金沢医科大学 脳神経外科)

一般演題 7 ● 分子生物学

11:00~11:40

座長：沖 隆 (浜松医科大学 地域家庭医療学)

O7-1 先端巨大症における gsp 遺伝子変異と臨床的特徴との関連性の検討

後藤 雄子 (大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科)

O7-2 Nur77 はサブクリニカルクッシング病とクッシング病における ACTH 自律産生能の違いの規定因子である

田淵優希子 (大阪大学 大学院医学系研究科 内分泌代謝内科学)

O7-3 ヒト多発性内分泌腫瘍症 1 型 (MEN1) 遺伝子は下垂体腺腫組織型によって splicing variant の発現様式が異なる

小澤 厚志 (群馬大学大学院 医学系研究科 病態制御内科)

O7-4 下垂体腺腫における腫瘍浸潤と Endocan の発現

亦野 文宏 (日本医科大学付属病院 脳神経外科)

O7-5 TTF-1 陽性となるトルコ鞍部紡錘形腫瘍について

澁谷 誠 (東京医大八王子医療センター 中央検査部)

ランチョンセミナー 5 ● 先端巨大症の病態とそのメカニズム

11:50~12:50

座長：齋藤 洋一 (大阪大学 産学連携本部 脳神経機能再生学)

LS5-1 高橋 裕 (神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学)

共催：帝人ファーマ株式会社

一般演題 8 ● 神経内視鏡手術

13:00~13:50

座長：矢野 茂敏（熊本大学 医学部 脳神経外科）

- O8-1 経鼻内視鏡頭蓋底手術における鼻中隔粘膜弁の大きさ：日本人での解析
丹治 正大（慶應義塾大学医学部 脳神経外科）
- O8-2 経鼻内視鏡手術におけるアプローチの工夫：
combined transseptal/transnasal binostril approach
藤本康倫理（公益財団法人唐澤記念会 大阪脳神経外科病院 脳神経外科）
- O8-3 トルコ鞍病変に対する完全片側蝶形骨到達法
永谷 哲也（名古屋第二赤十字病院 脳神経外科 神経内視鏡センター）
- O8-4 神経内視鏡時代の再発性・残存下垂体腺腫に対する経蝶形骨洞手術の検討
深見真二郎（東京医科大学八王子医療センター 脳神経外科）
- O8-5 80歳を超える高齢者の内視鏡下経蝶形骨洞手術
洪間 啓（新潟大学 脳研究所 脳神経外科）

一般演題 9 ● 手術機器

13:50~14:30

座長：辛 正廣（東京大学 脳神経外科）

- O9-1 内視鏡下経鼻下垂体腫瘍摘出術でのヘッドマウントディスプレイの使用経験
畑崎 聖二（三重大学 大学院 医学系研究科 脳神経外科）
- O9-2 3D 神経内視鏡での経鼻的傍鞍部手術の有用性
柿澤 幸成（信州大学 医学部 脳神経外科）
- O9-3 経鼻下垂体手術における術中モニタリングの適応と限界
佐藤 拓（福島県立医科大学 医学部 脳神経外科）
- O9-4 アドオン型ニューロナビゲータと超音波ドップラー装置の統合による経鼻下垂体手術の安全性向上
－当施設での工夫－
中嶋 剛（自治医科大学 脳神経外科）
- O9-5 ハイビジョン内視鏡導入後の下垂体腺腫摘出について
後藤 剛夫（大阪市立大学 医学部 脳神経外科）

- O10-1 内視鏡下経蝶形骨洞手術における術中 MRI の使用経験とピットフォール
伊藤美以子（山形大学 医学部 脳神経外科）
- O10-2 経鼻内視鏡手術のための蝶形骨洞側方含気化の解析
菊地 亮吾（慶應義塾大学医学部 脳神経外科）
- O10-3 再発性下垂体部腫瘍に対する内視鏡的経蝶形骨洞的到達法における virtual endoscopic image による術前検討の有用性
池田 直廉（公財）田附興風会医学研究所 北野病院 脳神経外科）
- O10-4 放射線学的石灰化を伴う下垂体腺腫の臨床的特徴
荻原 利浩（信州大学 医学部 脳神経外科）
- O10-5 傍鞍部髄膜腫における MR 画像から見た視神経と視神経障害発生の考察
山本 淳考（産業医科大学 脳神経外科）

- O11-1 pressed fat graft を用いた拡大経蝶形骨手術での頭蓋底閉鎖
久貝 宮仁（医療法人寿会 富永病院 脳神経外科）
- O11-2 内視鏡下経鼻手術と頭蓋底再建法
－粘膜フラップ作成時の蝶口蓋動脈中隔後鼻枝の同定とその意義－
石渡 規生（千葉大学 医学研究院 脳神経外科学）
- O11-3 内視鏡下経鼻的下垂体腫瘍摘出術 脂肪片を用いた髄液漏修復法
杉山 誠（関東労災病院 脳神経外科）
- O11-4 頭蓋咽頭腫における開頭手術法の比較
斎田 晃彦（東京医科大学茨城医療センター 脳神経外科）
- O11-5 視機能予後に基づいた頭蓋咽頭腫の手術
鮫島 哲朗（浜松医科大学附属病院脳神経外科）
- O11-6 頭蓋咽頭腫根治切除のためのアプローチの工夫
谷野 慎（独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター 脳神経外科）

2月22日(土) C会場(6F 607会議室)

症例報告6 ● その他の腫瘍2

9:00~9:40

座長：田村 哲郎(新潟県立中央病院 脳神経外科)

- C6-1 鞍内くも膜嚢胞に対する嚢胞閉塞法
吉村 政樹(大阪市立総合医療センター 脳神経外科)
- C6-2 下垂体腺腫と鑑別困難であった斜台部転移性肝細胞癌の一例
川崎 泰輔(国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院)
- C6-3 トルコ鞍近傍部に発生した海綿状血管腫の2症例
曾我部 周(徳島大学病院 脳神経外科)
- C6-4 松果体部海綿状血管腫の2例
宮原 宏輔(横浜医療センター脳神経外科)
- C6-5 頭蓋底骨巨細胞腫の治療戦略：1症例の経験と文献的考察
嶋田勢二郎(東京大学 医学部 脳神経外科)

症例報告7 ● 機能性下垂体腺腫1

9:40~10:40

座長：笠山 宗正(公益財団法人日本生命済生会付属日生病院)

- C7-1 腫瘍の局在診断に苦慮したクッシング症候群の2例
石橋 謙一(大阪市立総合医療センター脳神経外科)
- C7-2 Big-ACTH産生によるClinical silent corticotroph adenomaが疑われた1症例
五島 久陽(山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学分野)
- C7-3 下肢静脈エコーで深部静脈血栓が確認されたCushing病の2症例
工藤 正孝(東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科)
- C7-4 カベルゴリン内服中にSITSHが生じ、TSH産生下垂体腫瘍と診断した1例
櫻田 麻耶(東京都立多摩総合医療センター 内分泌代謝内科)
- C7-5 ランレオチドにて治療を行ったTSH・PRL産生下垂体腫瘍の1例
中谷理恵子(京都医療センター 内分泌・代謝内科)
- C7-6 TSH産生腫瘍と甲状腺ホルモン不応症との鑑別に苦慮した1例
廣田 圭昭(京都大学大学院 医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科)
- C7-7 TSH産生下垂体腺腫の11歳男児
伊藤 純子(虎の門病院 小児科)

症例報告 8 ● 機能性下垂体腺腫 2

10:40~11:20

座長：田中雄一郎（聖マリアンナ医科大学 脳神経外科）

- C8-1 カベルゴリン完全無効プロラクチノーザー例：下垂体癌か
大島 洋一（東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科）
- C8-2 下垂体部腫瘍術後高プロラクチン血症患者の妊娠期に薬剤管理を要した1例
山下 哲男（山口県立総合医療センター 脳神経外科）
- C8-3 経蝶形骨手術を行った小児のプロラクチン産生下垂体腺腫
馬場 良子（大阪市立総合医療センター 脳神経外科）
- C8-4 斜台部脊索腫を合併したプロラクチン産生下垂体腺腫の一例
服部裕次郎（日本医科大学 脳神経外科）
- C8-5 異型性プロラクチン産生腫瘍の1例
井上 明宏（愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経外科）

症例報告 9 ● 機能性下垂体腺腫 3

14:50~15:50

座長：片上 秀喜（帝京大学ちば総合医療センター 内科臨床研究部）

- C9-1 オクトレオチド（OCT-LAR）とペグビソマント（PEGV）の併用療法でIGF-1が正常化した
先端巨大症2症例
永野 秀和（千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学）
- C9-2 術中にTrigemino-cardiac reflexを呈し、腫瘍摘出が困難であった先端巨大症の1例
福井 崇人（中村記念病院 脳神経外科）
- C9-3 臨床症状に乏しくPreclinical acromegalyと考えられた1例
相見 有理（市立四日市病院 脳神経外科）
- C9-4 下垂体上面に発生母地を有した稀なGH産生下垂体腺腫の1例
堀口健太郎（虎の門病院 間脳下垂体外科）
- C9-5 全身関節症状から診断に至った先端巨大症の1例
祢津 昌広（東北大学病院腎高血圧内分泌科）
- C9-6 過去のGH過剰分泌が疑われた若年男性重症骨粗鬆症の一例
高安 忍（弘前大学 大学院医学研究科 内分泌代謝内科）
- C9-7 トルコ鞍内くも膜のう胞を合併した成長ホルモン産生下垂体腺腫の一例
中島 伸幸（東京医科大学 脳神経外科）

- C10-1 治療経過中に尿崩症の改善を得られたリンパ球性下垂体炎の一例
－下垂体炎における下垂体生検の意義
高 躍（千葉大学 医学研究院 脳神経外科学）
- C10-2 xanthomatous hypophysitis の1例
大石 正博（金沢大学病院 脳神経外科）
- C10-3 急激な視力障害を呈し、TSSを行ったリンパ球性下垂体炎の1症例
相見 有理（市立四日市病院 脳神経外科）
- C10-4 非典型的な画像所見を呈したリンパ球性下垂体炎の1例
神宮字伸哉（長岡中央総合病院 脳神経外科）
- C10-5 妊娠・出産を契機に視野障害で発症したIgG4関連下垂体炎の一例
滝口 朋子（千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科）